

Furu

あなたの暮らしに、新しい風

FUKUYA LIFESTYLE MAGAZINE

TAKE
FREE



vol.7
ストーブのある暮らし
冬だからこそ味わえる、美しい風景。



「あたたかい居場所から、 ひろがる暮らし」

冬がもっと、うれしい季節に

「冬が来ると、うれしくなるんです」ご夫婦で農家を営むふたりにとって、仕事が緩やかになる冬は待ち遠しくうれしい季節。そんな季節にペレットストーブが加わり、さらに冬の暮らしが特別なものになっているという。

ペレットストーブ設置のきっかけは、土間や火のある、古き良き農家の暮らしを少しでも感じられるようにという担当設計士からの提案だった。はじめは思いもよらない提案に驚いたが、手書きのスケッチパースにすっかり心を掴まれ設置を決意したのだとか。



引っ越しから3年。いまでは、ふたりの暮らしにもすっかりと馴染んでいる。農業という仕事柄、朝がとても早いのはつらいところだが、就寝前にタイマーを設定しておけば、朝からリビングはぼかぼか。真っ暗な部屋に、ストーブの明かりだけがともる景色は、早起きの特権。ずっと眺めていたいと思うほどに美しいものだという。

私たちに、丁度いい手軽さだった。

もともと設置するつもりがなかったペレットストーブ。計画中は不安もあり、あれこれ調べたけれど、設置のハードルが低いペレットストーブには、あまり不安な要素は見つからなかったという。「面倒くさがるの私たちには、丁度良かったよね!」と笑っていた。

実際に点火の様子も見させてもらったが、木質ペレットを本体上部から注ぎ込み、スイッチを押すだけで、操作はとてもシンプル。5分ほどで、カランコロンというペレットの落ちるかわいらしい音を合図に、小さな火花がふわりと舞い上がった。



お手入れを担当しているご主人は、唯一掃除は少し手間に感じることもあったと漏らしたが、頻度は2週間に一度ほど。掃除機を使えば時間もかからず、そこまで負担には感じていないという。これまではエアコンと併用していたというが、電気代の高騰や、奥様の長年の悩みでもある冷え性改善の効果を知ったことなどから「今年はペレットストーブを沢山使っていこう」と意気込んでいるのだとか。

静かな時間を、大切に過ごしたい

冬は日照時間の短さから16時頃には仕事を切り上げることもあり、家でゆっくり過ごす夜のおこもり時間がたっぷり。この日も、日本酒に凝っているというご主人が選

1. 横幅の広い燃焼ポットにペレットが落ちてきてペレットが燃焼します。カランコロンという可愛らしい音がふたりのお気に入り。2. ペレットストーブは、石油の代替資源として利用が進むバイオマスエネルギーを利用しているため、環境にもやさしい。3. “身体にいいこと”が好きな奥様は、セルフお灸で温活も。続けることで少しずつ効果を感じられているという。

んだお酒をふたりで酌み交わしながら、ごきげんな晩酌を楽しんでいた。居酒屋メニューを真似たというお手製のおつまみは、どれもとっても美味しそう。映画やドラマが好きで、晩酌をしながらテレビを見ることが多かったというふたりですが、近頃少しずつ、静かな時間への憧れが強まっているという。「ペレットストーブのある場所は、丁度テレビが見えないのが、むしろ好都合かなと思っていて。ぼうっと炎を眺めたり、読書や瞑想をしたりと、静かな時間を少しずつ増やしていきたいと思っています」と、これからの理想の暮らしについても話をしてくれた。ペレットストーブをきっかけに、ふたりの暮らしは少しずつ豊かに、ひろがりを見せている。



山中様邸

家族構成: 家族2人
竣工年: 2020年11月
構造: 木造二階建て
延べ床面積: 25.29坪

デザイン
と
間取り
心地よ、
No.5

テーマ

火のある暮らしを、楽しむ家

ご主人たっての希望だったという、薪ストーブと土間のある暮らし。一見、危険も多く子育て中はハードルに感じてしまうが「火を身近に感じることで、火のありがたさや怖さを感じてほしい」そんな、子育て中だからこそその想いも。今回、そんな想いの沢山つまった素敵な新居へ伺った。



憧れの空間で、 趣味を楽しむ

「使うほどに味わいの増すものが好きなんです」そう話すご主人は、薪ストーブの隣のベンチでお気に入りの革靴の手入れをするのが至福の時間。



Point 3



Point 4

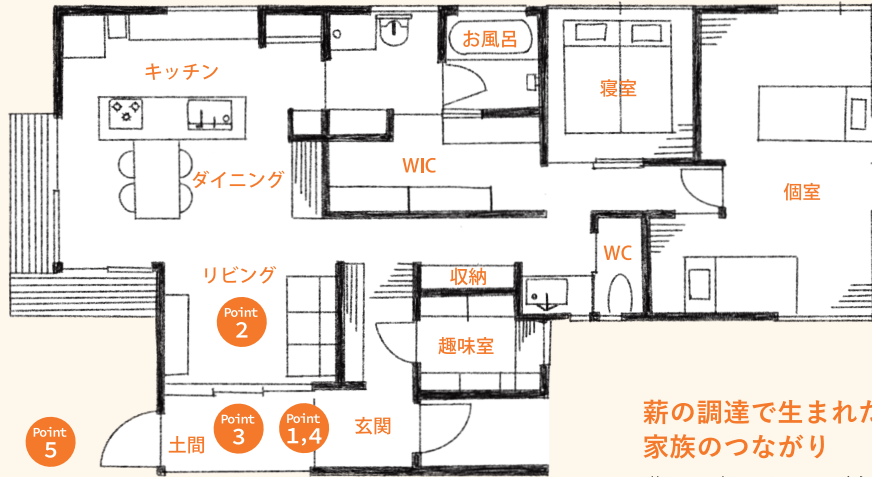
Point 1



子どもたちに「火」を 身近に感じて欲しい

田舎育ちのご主人。子どもの頃には、まだ薪でお風呂を沸かしていたり、野焼きがあったりと火を身近に感じられていたという。すっかり火に触れる機会がなくなった今だからこそ、子どもたちにも火をもっと当たり前と感じて欲しかったのだとか。

間取り図



井上様邸

家族構成 | ご家族5人 / 施工年 | 2023年7月
延床面積 | 28.24坪 / 構造 | 木造平屋建て

薪の調達で生まれた、 家族のつながり

薪の調達は、なんとご主人のご実家から。運んで来てくれたついでに子どもたちと遊ぶなど、祖父母と孫の交流のきっかけにもなっているという。

手間だけど、 やっぱり楽しい。

災害への備えもあり、電気に頼り過ぎないアナログな暮らしを理想としていたことも設置のきっかけのひとつ。薪ストーブは、点火や温度調整など手間はかかるけれど「実験みたいで楽しい」と、手間すらも楽しんでいる様子。

Point 5



包まれるような 暖かさがしあわせ

薪ストーブの重厚な鋳物から出る輻射熱は、包み込まれるような暖かさ。いつも朝の早いご主人が火をつけておいてくれるそうで「朝起きて、部屋があたかいのが最高です。子どもたちが薄着でも心配なくて楽ですね」と、子育て中の奥様も喜んでいました。



Point 2

FUKUYA MY HOME GALLERY

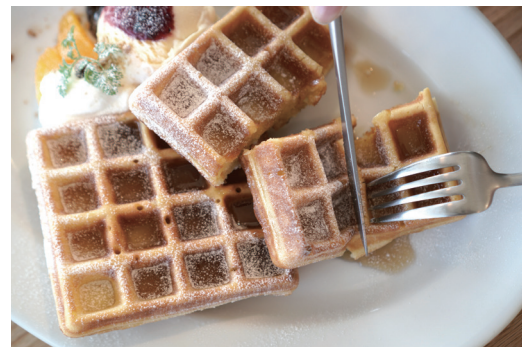


四万十の家

家族構成 | ご家族2人 / 施工年 | 2017年7月
延床面積 | 25.44坪 / 構造 | 木造平屋建て



サクふわ食感に、やさしい甘さ。 Cafe FLAGで、ワッフルを食べよう!



「カフェで、ワッフルをだすのが夢だったんです」デザイナーメニューを監修するYOSHINOの上園さんは、東京に住んでいた頃足しげく通うワッフルカフェがあった。そのカフェで食べた焼き立てのサクふわの食感が、ずっと忘れられずにいたという。そんな上園さんがメニューに選んだのは、軽く、ふんわり食感が特徴のアメリカンワッフル。生地自体につかわれる砂糖が控え目なので、ペロリと食べられてしまいます。素材にもこだわっている、お子様とも安心して

安心の、ローソファー席も。



赤ちゃんと一緒にでも



FLAG ワッフル 800円(税込)

お友達や家族とシェアすれば、楽しくておトク! 甘さ控えめのワッフルには、ほんのり甘いカフェオレが相性◎

してシェアできるのもうれしいところ。解放感のある気持ちの良い店内で、ワッフルを楽しくシェアするカフェ時間を癒されて。

本社2階社食ランチが食べられるカフェ

CAFE FLAG

@bistrocafe_flag



吾川郡いの町にあるカフェ・ドッグラン

COCAGE Villa FUKUYA

@cocagevillafukuya



Next Issue

1月29日 発行

vol.8

家をひらく

【発行元】

フクヤ建設株式会社

〒781-0015
高知市薊野西町3-35-29

☎ 088-845-4618

✉ fukuya@fukuya-h.co.jp

📱 @fukuya.kochi